

石巻専修大学

代表電話番号
0225 (22) 7711
入試専用FAX
0225 (22) 7809

「自分が経験した阪神淡路大震災で何もできなかったことがボランティア活動の出発点だった」

東日本大震災の被災地の地域再生と生活再建に主体的にかかわる大学生・大学院生らを助成する「住友商事 東日本再生ユースチャレンジ・プログラム」活動・研究助成の2013年度助成対象に、経営学部・山崎泰央ゼミの「被災地の子」として学生をつなぐ「こころプロジェクト」が採択された。助成金は50万円で、期間は14年3月31日までの1年間。

好投しており、安定した戦いを見せている。東日本国際大戦では厳しい戦いが予想される。ぜひ球場に足を運び、選手たちにエールを送ってほしい。

講師は支援団体

リーダーの14人

東日本大震災後の石巻復興に力を尽くしたボランティア団体のリーダーを講師に招く「復興ボランティア学」が、幅広い市民の注目を浴びてスタートした。理工・経営学部の共通科目である「総合科目Ⅰ」(前期開講)の授業で、ボランティアの役割や活動について理解を深めたいと今回は一般市民にも無料で開放。事前の申し込みもいらず、1回だけの聴講もできるため、毎回多くの市民が学生と共に講義に聞き入っている。

講師は、震災直後から「復興ボランティア」による社会的資本の形成。山崎教授は「復興に成る」地域の住民の自発的な行動が必要。各団体の活動をjつ、参加して登壇する。現場での実践につながる話が聞けるだけでなく、それぞれの団体の活動分野が異なるため、ボランティアの全体像をつかめるのが特徴だ。

「石巻の素晴らしさを発信していくことが今後の課題」と話す講師もいた。

また、近く行われる海浜清掃活動のボランティアに関心を寄せた受講生からは参加の手が挙がりたりました。

「自分が経験した阪神淡路大震災で何もできなかったことがボランティア活動の出発点だった」

「こころプロジェクト」が採択された。助成金は50万円で、期間は14年3月31日までの1年間。

山崎ゼミでは大学周辺の仮設住宅の支援を行っている。これまで収入の仮設住宅の支援を行っており、これまでに収入の仮設住宅の支援を行っており、これまで収入の仮設住宅の支援を行...

プロジェクターリーダーの大畑さんは「仮設住宅の集会所で子どもたちと遊んでいた小さな場が、いつの間にか大学で石巻全域の子どもたちと遊ぶ大きなイベントに発展しました。今回の採択を機に、さらに発展させていきたい」と抱負を語った。

今年度は統一テーマは「今、人間として生きるとは?」。講師は山崎省一人間学部長ら本学教員が担当。人間としての生き方に焦点をあて、石巻地域が復旧から復興へと歩みはじめるなか、新しい石巻を創造するための学びの場を提供する。

市民にも開放 地域の期待も



本学と高大接続事業の協定を結ぶ石巻商業高校では、高大接続公開授業として位置付ける。受講し単位を取得すれば、入学後に単位認定されることもあり、現在8人が受講している。また、ボランティア活動に関心を持つ学外の一般の方々の受講も見られ、同講座に寄せる地域の期待と評価は高い。

毎週火曜日5限目(16時50分~18時20分)に4号館4201教室で開講。8月3日にはシンポジウムを開催する。

今後の講座日程は▽5月21日・渡辺一馬(ワカツク代表理事)▽同28日・松村豪太(ISHINOMAKI N.O代表理事)▽6月4日・西本健太郎(みらいサポート石巻・復興応援隊)▽同11日・門馬優(TEDIC代表)▽同18日・柴田滋紀(にじいろクレヨン代表理事)▽同25日・小林深吾(ピースボート災害ボランティアセンタープログラムオフィサー)▽7月2日・渡部慶太(石巻復興支援ネットワーク前事務局長)▽同9日・長尾彰(プロジェクト結コンソーシアム理事長)▽同16日・河野心太郎(前MAKE THE HAVEN組リーダー)▽同23日・村島弘子(移動支援Reia代表)▽同30日・吉澤武彦(日本カシエアリング協会代表理事)



花見交流会 300人楽しむ

本学キャンパスの桜が満開を迎えた4月18日、学生会主催の「花見交流会」が開催された。交流会は、新入生へのサークル勧誘と、サークル間の交流の機会にと、学生会が企画。学生ら約300人が参加した。

開催地	開催日	会場
石巻	6月16日(日)	石巻専修大学
	10月12日(土)	*6月16日は定期総会を同時開催
仙台	7月7日(日)	TKP 仙台カンファレンスセンター
東京	7月7日(日)	TKP 銀座カンファレンスセンター
秋田	7月21日(日)	秋田県社会福祉会館
新潟	7月21日(日)	新潟東急イン
青森	7月28日(日)	ホテル青森
盛岡	7月28日(日)	ホテルメトロポリタン盛岡
大崎	9月1日(日)	古川商工会議所
山形	9月1日(日)	山交ビル
北上	9月8日(日)	さくらホール
福島	9月8日(日)	福島ビューホテル

経営学部・山崎ゼミのプロジェクト

東日本再生プログラムの助成対象に

優勝争いを展開 硬式野球部

山崎ゼミでは大学周辺の仮設住宅の支援を行っている。これまで収入の仮設住宅の支援を行っており、これまで収入の仮設住宅の支援を行...

プロジェクターリーダーの大畑さんは「仮設住宅の集会所で子どもたちと遊んでいた小さな場が、いつの間にか大学で石巻全域の子どもたちと遊ぶ大きなイベントに発展しました。今回の採択を機に、さらに発展させていきたい」と抱負を語った。

4月13日に開幕した東北大学野球春季リーグ戦で、硬式野球部がし烈な優勝争いを展開している。

4月13日に開幕した東北大学野球春季リーグ戦で、硬式野球部がし烈な優勝争いを展開している。

今年度は統一テーマは「今、人間として生きるとは?」。講師は山崎省一人間学部長ら本学教員が担当。人間としての生き方に焦点をあて、石巻地域が復旧から復興へと歩みはじめるなか、新しい石巻を創造するための学びの場を提供する。

今年度の統一テーマは「今、人間として生きるとは?」。講師は山崎省一人間学部長ら本学教員が担当。人間としての生き方に焦点をあて、石巻地域が復旧から復興へと歩みはじめるなか、新しい石巻を創造するための学びの場を提供する。



▲ 助成金の贈呈書を受け取る大畑さん(右)



▲ チームを引っ張る折笠洋平主将(経営4・福島県若松商業高)

今年度の統一テーマは「今、人間として生きるとは?」。講師は山崎省一人間学部長ら本学教員が担当。人間としての生き方に焦点をあて、石巻地域が復旧から復興へと歩みはじめるなか、新しい石巻を創造するための学びの場を提供する。

開放講座

6月6日からみやぎ県民大学「石巻専修大学開放講座」が6月6日から開講される(7月25日まで。毎週木曜日、全8回。19時~20時30分)。